

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000096		
法人名	社会福祉法人 福寿会		
事業所名	グループホーム さくら		
所在地	佐賀県佐賀市諸富町諸富津209番地3		
自己評価作成日	平成27年3月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年3月31日	外部評価確定日	平成27年5月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>日々の生活の中で、笑顔に溢れ御利用者とスタッフが、楽しく日常生活が送れる様な雰囲気作りを心掛けている。又、スタッフが御利用者の想いに添ったケアに努めれる様に考え、支援にあたっている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>利用者が居住する二階・三階からは、刻々と変化する筑後川や昇開橋が望まれ、その風景は利用者の心に癒しと安らぎを覚えさせている。 「共に笑い、共に喜び、共に歩む」ことを合い言葉にして「あなたらしく過ごしてきた人生を尊重し、これからの人生をあなたの想いにそって支援します」「自立支援の手助けをします」「地域とのつながりを支援します」を基本理念として、その実現を目指して、日々、利用者の支援に臨んでいる事業所である。利用者に寄り添っての想いや願い、暮らし方の意向を汲んでの支援は、利用者の安心した表情や姿となって現れている。家族にとっても気軽に訪ねて行きやすい雰囲気、要望にも柔軟に対応している。 檜風呂や身体状況に合わせたゆっくりとした入浴、尊厳を大切にした排泄支援、板前が台所で作る毎日の食事、その方らしい居室の構成、四季おりおりのドライブ、馴染みの場所への外出や外泊、その他多くの支援が、利用者を中心に視点を置いて行われている。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F)	自己評価／ユニットB(3F)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法令に準じた、独自の運営理念を定めている。	同左	理念は全職員で検討し、見直している。そして、職員が常に目につく場所に掲示してある。また、定例の会議や業務引き継ぎにあっても、理念を意識しており、理念の共有が出来ている。管理者の具体的な指導も適切に行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体施設と共同で、働きかけを行っている。この他、さくら独自で地域の幼稚園と年2回交流を図っている。	同左	職員も時間の取れる範囲内で地域の共同作業や催し事に参加し、地域住民とつながりを持っている。地域の方から認知症に関する相談もある。幼稚園との交流は、利用者にとっても楽しみの一つとなっている。	地域の自治会への加入を現在検討中である。地域とのつながりをより深めるためにも良き検討を期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々の理解は少しずつではあるが高まっていると思う。	同左		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、サービスの向上に努めている。	同左	年に6回の開催である。行事、利用者の暮らしぶり、支援の実際等の報告だけで終わることなく、質疑や意見等も出されている。医療加算に関すること、おやつ代の事、地域の作品展への参加、リハビリや外出への要望等がその後の運営に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	おたっしや本舗諸富・蓮池と協力関係を築く様に取り組んでいる。	同左	行政の福祉担当課とは常に連絡をとりあっている。事業所としての課題、サービス内容、情報等を共有し運営に活かしている。行事に関する相談、災害時の協力、緊急時の対応についても協力関係が出来ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については認識し身体拘束ゼロにする為に、家族を含めスタッフでも話し合いを定期的に行っている。	同左	外部研修会や法人全体での研修会、事業所独自の研修会を行い、身体拘束が心身に及ぼす影響や弊害を十分に認識している。これまで身体拘束の事例はない。安全管理上、エレベーターを利用して外に出るには暗証番号が必要である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が行われないように正しい知識の提供と、スタッフ間での話し合いや、勉強会を行い虐待防止に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見人制度等について研修や勉強会を行い、知識を深め気軽に相談して頂ける様に支援している。	同左		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時に、契約書及び重要事項説明書の内容を利用者及び家族に説明を行い同意を得ている。	同左		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気軽に話しかけられる雰囲気作りを心掛けている。又、玄関に提案箱を設けている。	同左	面会の家族に必ず笑顔で声をかける等の気軽に訪ねて行きやすい雰囲気づくりに努めている。家族は何でも相談したり、要望の伝えやすさを感じさせている。季節による服の入れ替え、細やかな接遇、設備についての要望など即時運営に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	介護士会議や朝礼時等、スタッフの意見や提案を聞くようにしている。又、緊急時には随時話し合い、意見交換を行っている。	同左	管理者は、常に職員の意見や提案に耳を傾け、よりよい運営と質の高いサービスを目指している。外出の際のカイロの使用についての勉強会、利用者間の感情を考慮した席替え、行事の持ち方など運営に反映している事例は多い。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員と意志の疎通を図り、働きやすい職場作りを心掛けている。	同左		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修会への参加を促し、研修後は周知を図っている。	同左		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や講演会等に参加し、他の施設と交流を図っている。又、他の施設にスタッフと見学に行き、サービスの向上に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が何でも気軽に相談できるような雰囲気作りや関係作りを心掛けている。	同左		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が気軽に話しかけられる雰囲気作りを心掛けている。	同左		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来るだけ、利用者・家族の希望に耳を傾け、他のサービスも含め検討を行う。	同左		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の出来る事は出来るだけ手伝って貰い、お互いの暮らしを共にするもの同士の関係を築いている。	同左		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が気軽に訪問できるような雰囲気作りを心掛け、家族と共に利用者を支援している。	同左		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族やご近所様・友達との面会を増やして貰い、又、利用者の体調に合わせて外出・外泊の機会を持って貰う様に努めている。	同左	アセスメント等で利用者がこれまで大事にしてきたものや好み、思い出の場所等を把握している。また、家族の協力を得ての外泊、面会や散歩、買い物や行きつけの美容室の利用等の機会を多くし、これまでの関係を保つようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が仲良く過ごせる場所を作り、お互い助け合える場所を提供している。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても、利用者や家族に対しては、出来る限りの支援を行っている。	同左		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ、本人の希望・要望に合った、その人らしい暮らしが出来る様に検討し支援している。	同左	利用者の心に寄り添う支援は、職員への信頼感を生んでいる。利用者の感情を察して二人きりで居室で話したり、日常の表情の変化、つぶやき、何気ない動作や行動等にも気を配り、想いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴を家族や本人より聞き、サービスに反映出来る様に努めている。	同左		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の有する能力に応じた環境を整え、出来るだけ職員は利用者の行動について口を出さず見守りを行う様に努めている。	同左		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者との会話及び家族からの聞き取り等によりアセスメントを実施し、個別の介護計画を作成する。	同左	入居時やその後の日々の暮らしぶりや身体状況、本人や家族の要望を十分に取り入れての計画を作成している。支援内容は、具体的で実行可能なものになっている。共通サービスも細やかに捉えている。評価や計画の見直しも、定期的に、又は状況の変化に応じて適切に行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメント表を作成し、ケース記録として日々の生活状況を記録し、職員間での情報を共有して、介護計画の見直しに活かしている。	同左		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の状況に応じた支援を行っている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	母体施設を中心に諸機関への働きかけを行い、周知を図っている。	同左		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望があれば、希望の医療機関への通院・受診が出来る様に支援を行っている。	同左	利用者や家族の希望する病院での受診を支援している。協力医療機関とは24時間、何時でも相談、受診が出来る関係である。職員が同行支援した時は、その結果をきちんと家族に伝えている。歯科は、訪問歯科での受診で義歯の相談もある。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護の看護師と、相談しながら日常の健康管理を行い、必要があれば受診を行う。	同左		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常時連携体制をとっている。	同左		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者・家族・医師・看護師と相談しながら、利用者にとって、最良の方法を話し合い支援を行っている。	同左	「重度化した場合の対応に係る指針」を基に、契約時に利用者、家族と納得のいく話し合いが持たれている。状況の変化があった場合は、主治医、家族をはじめとする関係者とその都度話し合いや相談の機会が持たれている。これまで看取りの事例はないが、希望があればその用意は出来ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法・マニュアルを作成し、マニュアルに従い処置を行う様にしている。又、定期的に職員が集まり、全ての職員が緊急時の処置が出来る様に実践力を身に付けている。	同左		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急時のマニュアルに基づき職員に周知して貰っている。又、隣接する母体施設の職員の協力体制も出来ている。	同左	夜間の火災を想定して、年に2回の避難訓練を行っている。自動通報装置も設置している。隣接施設と協力しながらの訓練で、消防署の指導も受けている。近隣住民や地元消防団への呼びかけはまだ十分ではない。	施設が二階と三階にあるので、地元消防団にも居室等の配置を知ってもらったり、近隣住民の協力を得ての災害対策の検討を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けを行っている。	同左	利用者のこれまでの人生や尊厳を大切にしている支援である。接遇一つにもその方の誇りを大切にしたい支援が見受けられた。ホーム便りに写真を掲載する場合は、家族の了承を得ている。個人情報も、運営規程に基づき、きちんと管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉掛けにより利用者の希望・要望を聞き対応している。又、選択の場面を作ったり利用者の希望や自己決定が出来る様に努めている。	同左		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせた対応を心掛けており、生活を送る中で出来るだけ利用者の意志を尊重している。又利用者一人一人のペースに合わせた支援を行っている。	同左		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族の持参された衣類の中で、本人の希望に添った支援を行っている。又、お化粧を楽しまれる習慣があった方は、お化粧を出来る環境を整え行って貰う様に支援している。	同左		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の煩わしさから解放された環境で、ゆっくりくつろげる雰囲気や味わって貰えるよう、板前により食事の提供を行っている。食事の後片付けは、職員と共にやっている。	同左	家庭的な雰囲気を大切にしたい食事が出る様に配慮をしている。職員もそっと見守りながら同じ食卓で一緒に食事である。朝食は、その方に合わせた時間帯に摂ってもらっている。板前を入れた事によって生み出された時間を、利用者と接する時間にあてている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量のチェックを行い、栄養状況を把握し、利用者一人一人に応じた支援を行っている。	同左		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者の能力に応じた、口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別による排泄支援を行っている。	同左		排泄チェック表や細かい観察等によって利用者一人ひとりの実情にそった支援を行っている。おむつ使用の方も昼間は紙パンツに変えている。トイレでの排泄が出来る様に改善された利用者もある。失禁には羞恥心に配慮した細やかな支援がなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の配慮は勿論、排泄が困難時は、オリゴ糖・下剤の調整・適度な運動を行い排泄を促している。	同左			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来るだけ、利用者の希望・体調に合わせた支援を行っている。	同左		二日毎の入浴であるが、毎日、入浴の準備は出来ており、希望する方は毎日でも入浴することができる。入浴順番や時間帯は特に決めずに、ゆっくりとその方に合わせた入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ昼寝をせずに済むように、散歩や娯楽・お手伝いを日中に行い、夜間安心して眠れるように支援している。	同左			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をバイタルチェック表に掲示し、医師の指示に従い服薬の支援を行っている。又、症状の変化の確認に努めている。	同左			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後・おやつの後片付けや洗濯物干し・畳み等を共に行う場面を作り、一緒に手伝って頂く。又、季節の行事等についても利用者に教えてもらい楽しい雰囲気作りの支援を行っている。	同左			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出は利用者の体調を見ながら、出来るだけ意志を尊重し支援を行っている。又、普段いけない場所に関しては家族や地域の協力を得ながら、出来るだけ利用者の希望に添えるように支援を行っている。	同左		広い園内や近所の散歩、買い物、日光浴など利用者の希望や体調、気候、天気などを見ながらの支援である。車椅子の方も散歩が出来ている。昇開橋の見学、花見、コスモス園、足湯、外食等の希望を、家族や地域の協力を得て実現している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(2F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(3F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の能力に応じた支援を行っている。	同左		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が自由に通信できるように支援を行っている。	同左		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カウンター式の台所に隣接して共同の生活空間があり、談話室の装飾においても、穏やかで家庭的な雰囲気作り心掛けています。	同左	広くて明るい室内は温度や湿度も快適に保たれている。談話室にはソファベットのテーブル、新聞や雑誌、季節の花の輪ざし等色々な物が見受けられる。利用者は談話室で思い思いに過ごしている。浴室は、檜風呂と機械利用の入浴が準備されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子やソファを設置し、利用者が個々にくつろぎ、お互いが親睦を深められるような空間作りを行っている。	同左		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、家族に利用者の使い慣れた物品の持ち込みについて十分に説明を行い、居室の環境作りを行っている。	同左	使い慣れた家具や馴染みの物の持ち込みに制限はない。家族の協力を得ながら、各居室がその方らしい構成になっている。長年使ってきたお気に入りの机、整理筆筒、椅子、鏡、手芸作品、アルバム、本、ご位牌、その他色々な物が見受けられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手動センサー式蛇口など、安全に自立した生活が送れるように心掛けてる。	同左		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない